

## 強いハートを持って!

13日の仙台戦は、前半31分にDFアンドレのゴールで先制したものの、その直後に立て続けに2失点して逆転を許し、結局、1-3で敗れてしまいました。そして16日のアウェイ神戸戦も、開始4分にMF片岡のビューティフルゴールで先制しながら、終わってみれば1-4の逆転負け。

勝負の世界ですから負けるのは仕方ないとしても、いつも同じようなやられ方をしているのが気になります。得点した直後の失点、失点した直後の連続失点、あるいは退場者を出した直後の失点(鳥栖戦やアウェイ水戸戦)・・・。

原因は選手たちのメンタル面にあるような気がします。先制したことで気持ちが守りに入ってしまったたり、失点や退場で「今日もダメか」と気持ちが切れてしまっているのではないのでしょうか。

そんな選手たちに強いハートを持たせるには、まずサポーターが強いハートを持つことです。常に攻める気持ち、最後まであきらめない気持ちを持って応援すれば、それは必ず選手たちにも伝わるはず。最高の応援で最高のプレーを引き出しましょう!

「VORTISSIMO!」は、より多くの方に声を出して応援していただくことを目的として、徳島ヴォルティスのサポーター有志によって制作されている試合情報紙です。

タイトルの「VORTISSIMO!」には、「Vortis」と「Fortissimo」(イタリア語で「もっと強く」の意味。音楽用語では「もっと大きな音で」の意味でも使われます)を掛け合わせて、サポーターの「より大きな声援」によってヴォルティスを「もっと強く」したい、という願いが込められています。

インターネット上でバックナンバーをご覧いただけます。

<http://vortissimo.seesaa.net/>

また、上記のサイトでは、皆様からのご意見や情報の投稿も募集しております。



この情報紙は、決してスタジアム内には捨てないでください。ゴミのないスタジアム環境作りへのご協力をお願いいたします。

### Today's Topics

## 前半型の徳島、後半型の柏

今シーズンの両チームの前後半の得失点差を比較してみると、ヴォルティスは前半が「-5」、後半が「-33」という極端な前半型の傾向を示している。一方の柏は、前半が「+1」で後半が「+18」という典型的な後半型だ。

そんな両チームが対戦した過去3試合、ヴォルティスが奪った得点は計2点、柏が挙げた得点は計6点だが、実はヴォルティスのゴールはすべて前半、そして柏のゴールはすべて後半に記録されたものである。しかも、得点だけでなく試合内容を見ても、3試合とも前半はヴォルティスのペース、後半は柏のペースだった。

したがって、ヴォルティスが勝利をつかむためには、まず得意の前半にリードを奪うことが必須条件。そのうえで、苦手の後半をいかにしのぎきるか、がポイントとなる。玉乃のPKによる1点を守りきった、前回の鳴門での試合の再現を期待したい。

- 直近5試合:(徳島)1分4敗(柏)3勝2敗
- J2対戦成績:(通算)1勝2敗(ホーム)1勝
- 古巣との対戦:(徳島)羽地(柏)なし
- 出場停止:(徳島)なし(柏)ディエゴ

## ノリヲ vs 柏レイソル (posted by カロメ)

「ノリヲ」ことGK高橋は仙台在籍時の2002年、仙台スタジアムで柏と対戦した。3-2とリードして迎えた後半18分、仙台はPKを与えてしまう。このとき、ノリヲはキッカー・黄善洪が蹴る前からゴールの左側に寄り、わざと右側を空けた。これに惑わされたか、黄善洪はPKを右に外し、これで集中の切れた柏は仙台に2-5で敗れた。サポは「ノリヲがヲーラで外させた」とノリヲを称えたという。あれから4年。もし今日の試合で柏がPKを得たとしても、悲観してはいけない。サポの声援で増幅された「ノリヲーラ」は、PKを防ぎ、柏から集中力を奪い取るに違いない。

## ◎ 広島からDF西河翔吾選手が加入!

今月11日、サンフレッチェ広島から西河翔吾選手が期限付き移籍(来年1月まで)で加入することが発表されました。西河は高さや強さが売りの大型DF(身長183cmはDFではチームNo.1)で、昨シーズンは広島でJ1リーグ15試合に出場した実績を持っています。16日の神戸戦は足の違和感のためにメンバーから外れましたが、リーグワースト失点の守備を建て直すには不可欠の選手です。ピッチを離れれば、笑顔が魅力の23歳のイケメン男。サッカーの実力はもちろんのこと、人気面でも期待したいですね。

## ◎ 東京VからMF小野雄平選手が加入!

西河の加入が発表された翌日、今度は東京ヴェルディ1969から小野雄平選手が期限付き移籍(来年1月まで)で加入することが発表されました。小野は2001年にU-16の日本代表にも選ばれたほどの選手で、ヴェルディでは選手層の厚さに埋もれて出場機会に恵まれませんでした。実力は折り紙つき。さっそく16日の神戸戦にボランチとしてフル出場しました。まだ21歳の若手ながら、自信を感じさせる落ち着いた雰囲気魅力です。

## ◎ ヴォルアマ、天皇杯初戦突破ならず

17日、入田の徳島市球技場でヴォルティス・アマが天皇杯の1回戦に臨みました。台風による横殴りの大雨の中、JFL14位のFC琉球に挑みましたが、グラウンドコンディション不良のため持ち味のパス・サッカーを展開できず、惜しくも0-2で敗れてしまいました。選手の皆様、お疲れ様でした。また、悪天候の中で声援を送ってくださったサポーターの皆様、ありがとうございました!

## ◎ 次節は厚別 目指せ札幌戦初勝利!

次節の対戦相手はコンサドーレ札幌、会場は札幌厚別公園競技場です。札幌との対戦成績は、昨年は3分1敗、そして今年はこちらまで2分1敗・・・。そう、ヴォルティスはまだ一度も札幌に勝ったことがないのです。JFL時代まで遡ってみても、大塚FCが札幌に勝ったことはありません(4戦全敗)。今度こそ、札幌戦初勝利を勝ち取りたいですね。そして、気分よく来週末の「四国ダービー」最終戦に臨みたいものです。